## 一都市樹木研究室一

# 街の樹木 News Letter

#### VOL.8 5月号

発行元:株式会社エコル 東京都港区高輪 3-4-1 高輪偕成ビル 8F TEL:03-5791-2901 / FAX:03-5791-2902



都市樹木研究室

## 山を赤くする樹木の病気ーナラ枯れ

が青々と茂っているはずの6~9月頃、枯れ葉で真っ赤に染まっている樹木を見た ことはありませんか?これは「ナラ枯れ(正式な病害名は ブナ科樹木萎凋病)」 という伝染病で、カシノナガキクイムシ(以下カシナガ)が巧みに背中に保持して運んでくる 菌によって発病します。

本病害は全国的に発生しており、近年関東でもコナラ等で大流行し大きな話題となっています。身の回りの樹木で以下のような症状が見られたらナラ枯れかもしれません。

## ✓ 葉がついたまま、急激に枯れた

秋の落葉期と違い急に枯れていくため、枯れ葉が枝に残ります。大きい樹木の場合は、枝の一部だけが枯れることもあります。



フラスとは、虫が木に穴をあけたときに出る、木くずと糞の混ざったものです。カシナガのフラスは、発生初期は白く、時間がたつと茶色くなります。手のひらに取ると、しわの中に入ってしまうほど小さく細かいフラスです。

## ✓ <u>直径 1.3~1.8 mm程度の穴が見られる</u>

フラスを目印に近くをよく見てみると、虫が侵入した穴が見つかります。カシナガの穴は直径 1.3~1.8 mm と言われており、穴の大きさを確認することも判断材料となります。







これってナラ枯れ?処置や対策はどうしたら良いの?等、 お困りの時はエコルまでご相談ください。

